

7月の果実の見通し

令和2年6月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
おうとう	山形 北海道 など	332	90%	389	1941	高い	1558	189	56.9%	「佐藤錦」は山形県産が7月上旬で終了、秋田県産は6月末から出荷ピークを迎える。北海道産は生育順調で、前年並みの出荷量の見込み。 「紅秀峰」は山形県産が7月上旬から出荷ピークとなり、秋田県、北海道産へと続く。
もも類	山梨 福島 など	5012	95%	5983	711	高い	613	8	0.2%	各産地とも開花期は前年に比べて3~5日程度早く、生育は順調。 山梨県産の遅場産地では7月に入ると「白川白鳳」の出荷開始。早場産地では「早生白鳳」が開始し、第2週目からピークを迎える。 福島県産は6月末から「はれひめ」が前年と同時期から開始し、7月下旬から「あかつき」が開始する。 岡山県産「清水白桃」の出荷開始は、前年並みの7月17日頃に開始の見込み。玉伸びせず若干小玉傾向。 山形県、長野県産は8月に入ってから開始。
ぶどう類	山形 山梨 など	1220	100%	1317	1435	高い~平 年並み	1295	589	48.3%	「デラウェア」島根県産は6月でほぼ終了。7月からは山形県産が販売の中心となる。山梨県産は下旬から露地物が開始。 大房系の出荷量について、「シャインマスカット」は前年よりも増加、「巨峰」「ピオーネ」は若干減少の見込み。 山梨県産は「巨峰」が7月下旬から、「ピオーネ」が7月末から開始。岡山県産は各品種とも7月上旬から増量に向かう。
すいか類	長野 山形 など	10877	105%	12376	169	平年並み	194	2501	23%	島根県産は7月上中旬まで潤沢な出回り。 千葉県産「黒皮西瓜」の出荷量は平年並み。レギュラー品の出荷量は前年より多く、7月中旬まで続く。 新潟県産は6月末から、長野県産は7月上旬から、山形県産は7月中旬から、順次出荷が始まる。 前年は梅雨時期が長かったが、今年は梅雨明けが早くなる予報があるため、荷動きが期待される。 「小玉すいか」は7月下旬にほぼ終了。

7月の果実の見通し

令和2年6月30日現在
山形県東京事務所

品目	区分 主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
メロン類	千葉 北海道 山形 など	4089	95%	3728	386	高い～平 年並み	429	1356	33%	「アールスメロン」は6月下旬から徐々に引き合いが強まり、7月の価格は堅調の見込み。 茨城県産「クインシー」「アンデス」は6月でほぼ終了。「タカミ」は7月に若干残る。 千葉県産「タカミ」は7月中旬まで十分な出荷量がある。 山形県産は「アンデス」から「クインシー」へと切り替わる。 北海道(JAきょうわ)は7月から開始し、中旬に出荷ピークに入る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)